

平成20年度 参画と協働の普及・啓発の推進

県民への普及・啓発

『ザ・わかもの座談会』の実施

将来を担う若い世代を中心に、これまで地域づくり活動に関わりの少ない県民が、地域で活躍している実践活動家から活動の概要を聞くとともに意見交換を通じて、活動の意義を実感するとともに、地域づくり活動が身近なもので、だれでもいつでも始められることを理解し、活動に取り組むきっかけづくりとする。

実施時期 平成20年7月～平成21年2月

開催地域 県内5～7地域

実施事例

テーマ、概要	参加者	日程
	活動の紹介者	場所
(大学と連携して) 『やってみよう！地域にイイコト』  大学の講義の場を活用して、大学生が、四川省やインドネシア等での災害救援ボランティアなどに関わった活動家から活動体験を聞くことにより、活動の意義ややりがいについて理解を深め、各自が実践できる活動を考える。	学生(兵庫県立大学)	7月2日
	アジア防災センターのスタッフ	神戸地域
(商工会青年部やJCと連携して) 『ホルモン焼きうどん地域を元気にしよう ～参画と協働による西播磨の地域づくり～』  西播磨のまちづくり等に関心のある若い世代、商工会、JCのメンバー等が、地域名物を核に地域の元気づくりに取り組む活動家から活動のアドバイスを受けながら、地域の活性化に向けて意見交換をする。	若手経営者、商工会、JCMWA等	9月
	コステーション缶 環 館 空き缶でもうけてもええ会	西播磨地域
(市と連携して) 『始めよう！ 小さなエコプロジェクトから ～参加と協働によるコウノトリとの共生～』  豊岡市民が、市内の小中学生が自主的に取り組む環境活動等の紹介を参考に、環境にやさしい取り組みについて意見交換をし、一人ひとりあるいは地域ぐるみの取り組みにつなげる。	豊岡市民	未定
	豊岡市職員、新田プロジェクトE等	但馬地域
(NPOと連携して) 『丹波人あつまれ！みんなで地域を元気にしよう！』  丹波地域の活性化に取り組む「NPO たんばぐみ」による活動の紹介や、地域づくり活動の体験活動等を踏まえて、住民が、地域づくり活動を身近に感じ、活動に取り組むやりがいやおもしろさを実感する。	丹波地域の住民	秋～冬(予定)
	NPO たんばぐみ	丹波地域
平成20年度 参画と協働の普及・啓発の総まとめ (企業(マスコミ関係)と連携して) 『ザ・わかもの座談会 地域から発信しよう』  マスコミ関係者、NPO・活動団体、行政等による意見交換を通して、NPOや活動団体、行政等が地域での取り組みを広く住民に知らせるための効果的な情報発信の方法について考え、それぞれが情報発信力を高める。	NPO をめざす若者、活動団体、行政職員	2月頃(予定)
	マスコミ関係	神戸地域

中播磨、北播磨地区については調整中

## 県・市町職員の意識の醸成

### 1 県職員

#### (1) 自治研修所研修の活用

自治研修所が実施する階層別・特別研修の場において、ガイドブック等を活用し、県職員に対して参画と協働の意識の向上を図る。

##### 講義

研 修 名	対 象	時 期	定 員(人)
行政特別研修	行政特別研修生選考試験に合格した職員	7月～9月	50
新任職員研修(後期)	新任職員	10月～11月	150
主任研修	概ね入庁10年目の職員	11月～12月	210

##### 情報提供

職員の参画と協働の手法の活用について、ノウハウの向上に役立てるため、自治研修所でのすべての研修会場に、参画と協働のガイドブックを紹介するチラシの設置を依頼するなど、情報提供に努める。

#### (2) 職場研修における普及啓発

県職員の参画と協働の意識の向上を図るため、各職場での研修を呼びかけるとともに、資料提供に努める。

・実施時期 6～7月

### 2 市町職員

#### (1) 財団法人兵庫県自治協会研修の活用

自治協会で開催される市町職員研修の場において、ガイドブック等を活用し、市町職員に対して参画と協働の普及啓発を図る。

##### 講義

研 修 名	対 象	時 期	定 員(人)
住民と行政の協働研修	特に住民との協働の知識を必要とする職員	9月～11月	50

#### (2) 市町との意見交換

市町の参画と協働の取組状況(年次報告掲載)をもとに、参画と協働の今後の推進方法等について、意見交換を文書・電話等で実施

・実施時期は要調整